

ピットと呼ばれる2基の小さな穴から1000枚以上の中世の古銭が見つかりました。古銭の種類は様々で、<sup>こうぶつほう えいらくほう</sup>洪武通宝や永楽通宝などの中国銭が全46種類ありました。2基とも500点以上の古銭が袋にいられて埋められていたと考えられ、ひとつの遺跡内でまとまった古銭の出土例は、君津市では初めてです。これは、当時の人が備蓄したものだと考えられます。古銭の鑄造年代は様々ですが、付近の井戸から15世紀代の土器が出土していることから、このピットも同じ時期のものだと考えられます。



↑ 出土した古銭



← 古銭出土ピット調査風景

かみ ゆ え びと

## 上湯江人

～土に埋もれた歴史を探る～

君津市生涯学習交流センター 9月13日(火)～9月20日(火)

写真・資料

君津市教育委員会

編集・発行

君津市教育委員会生涯学習文化課

令和4年9月12日発行

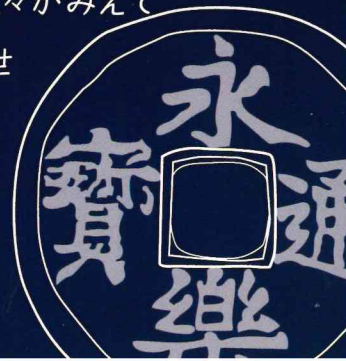
# かみ ゆ え びと 上湯江人

～土に埋もれた歴史を探る～



たてあな 縦穴住居跡カマド調査風景

君津市貞元・上湯江に所在する上湯江遺跡は、近年調査が進み平成29年度と令和2年度には大規模な発掘調査を実施しました。様々なものが見つかり、上湯江遺跡に暮らした人々がみえてきました。古代に文字を書く人々がいたことや中世までの生活痕跡など、君津市で初めて出土したものもあります。令和2年度調査成果を中心に『上湯江遺跡に暮らした人＝<sup>かみ ゆ え びと</sup>上湯江人』の土に埋もれた歴史を紹介します。





令和2年度に実施した本調査では、奈良・平安時代の<sup>たてあな</sup>竪穴住居跡や<sup>ほったてばしら</sup>掘立柱建物跡などの暮らしの跡や平安時代の木組みの井戸、中世の井戸・古銭を埋めたピットなど、多くのものが土の中から見つかりました。

平安時代の木組みの井戸からは、墨で文字が書かれた『<sup>ぼくしよどき</sup>墨書土器』や祭祀で使う木製品の『<sup>いぐし</sup>斎串』などが出土しており、井戸に伴う祭祀の跡を確認することができました。

